



スパークス・ジャパン・エクイティ・ファンド

愛称:ビッグウェーブ21

マンスリーレポート
基準日 平成23年12月30日

【運用実績】

過去のパフォーマンス(%)	直近の分配実績(円)			
	ファンド	TOPIX		
過去1週間	0.75	0.76	第6期(06/5/25)	0
過去1ヵ月間	-0.06	0.02	第7期(07/5/25)	0
過去3ヵ月間	-4.42	-4.28	第8期(08/5/26)	0
過去6ヵ月間	-12.02	-14.20	第9期(09/5/25)	0
過去1年間	-13.69	-18.94	第10期(10/5/25)	0
過去3年間	-6.03	-15.20	第11期(11/5/25)	0
設定来	-28.13	-52.19	設定来累計	150

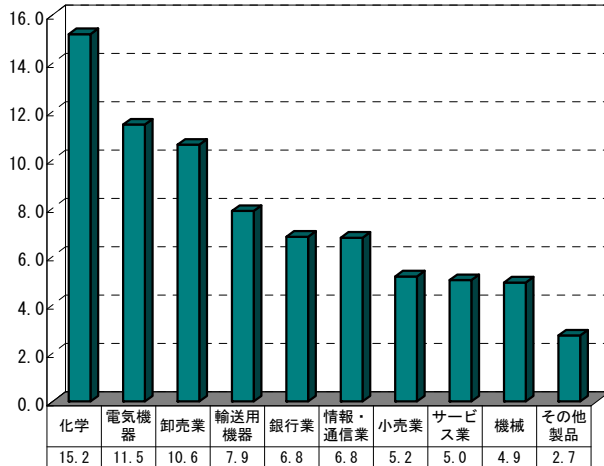
※決算期に収益分配があった場合のファンドのパフォーマンスは、分配金(税金控除前)を再投資することにより算出される収益率です。従って実際の投資家利回りとは異なります。

【信託財産構成比(%)】

株式	96.0
現金・その他	4.0

※比率は対純資産

【業種別構成比 上位10業種(%)】

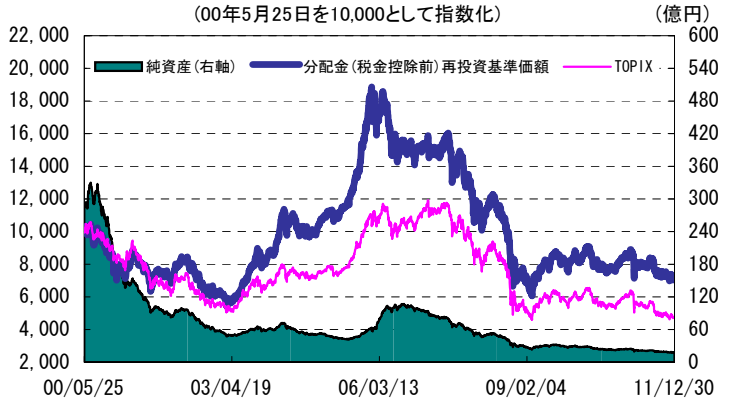


※比率は対純資産

【基準価額と純資産総額の推移】

基準価額	解約価額	純資産総額
7,086 円	7,065 円	18.02 億円
ハードル価格: 16,772 円		

※基準価額がハードル価格を超えると実績報酬が発生します。詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。



※過去の実績は、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
※当ファンドはTOPIXに連動するものではありません。
※基準価額は、信託報酬および実績報酬控除後です。

【組入株式 上位10銘柄(%)】

(銘柄総数 64銘柄)

銘柄	市場	業種	比率
ユニ・チャーム	東1	化学	5.92
三井物産	東1	卸売業	5.88
楽天	JQ	サービス業	4.86
花王	東1	化学	4.15
日本電産	大1	電気機器	3.38
トヨタ自動車	東1	輸送用機器	3.27
キヤノン	東1	電気機器	3.05
クボタ	東1	機械	3.01
三井住友トラスト・ホールディングス	東1	銀行業	2.61
キーエンス	東1	電気機器	2.47

※略称は下記の取引市場を指します。 ※比率は対純資産
東1: 東証1部、東2: 東証2部、東M: 東証マザーズ、
大1: 大証1部、大2: 大証2部、JQ: JASDAQ、HC: ヘラクレス

12月の当ファンドは紙おむつ・生理用品大手のユニ・チャーム、国内日用品およびパーソナルケア製品最大手である花王、無印良品ブランドで日用品雑貨・衣類などの小売ビジネスを展開する良品計画などが主にプラスに貢献しました。一方、ファンドにマイナスの影響を及ぼした銘柄は、農業機械大手のクボタ、ファクトリー・オートメーション・センサー大手のキーエンス、民生電機大手のパナソニックなどでした。

日本の株式市場は、継続的な円高水準による輸出企業の競争力の弱体化、消費税増税論議による経済成長鈍化への懸念および民主党による政権運営弱体化の懸念などにより、パフォーマンスの低迷が顕著です。しかしながら、国内全ての銘柄の株価が下落を続けているわけではなく、過去10年間においても約半数近くの上場企業の株価は上昇しているという結果が出ております。従って、常に銘柄選択が非常に重要であると判断しており、より一層個別企業の調査に力を入れていく方針です。

今後については、グローバル経済の成長の鈍化はすぐには解決しないと思われ、慎重なスタンスを継続する方針です。このような環境の中、相場が軟調な展開になれば、株価が割安な水準にある優良銘柄に投資できる好機であると捉えております。引き続き徹底したボトムアップ・リサーチを通じて中長期的に利益成長の見込める企業を発掘し、パフォーマンスの向上に全力を尽くしていく所存です。具体的には日本発のモノづくり技術、省エネ技術、匠(たくみ)の技などをベースに世界で成長できる可能性の高い企業や、新興国の生活水準の向上から恩恵を受けることが期待できる企業などへの投資を行ってまいります。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。

スパークス・ジャパン・エクイティ・ファンド
愛称:ビッグウェイブ21

マンスリーレポート

ファンドの特色

1. 主としてわが国の金融商品取引所上場株式から中長期的に高い成長が予想される産業、企業にフォーカスし、個別企業に対する訪問調査をベースに一社一社選別し、積極的な運用を行います。
スパークスは、1989年の創業以来「マクロはミクロの集積である」という投資哲学を一貫して継続しており、徹底的な個別企業に対する訪問調査により、独自の視点で企業の実態価値を計測します。
2. ベンチマークをTOPIXと規定しますが、TOPIXの業種配分にしばられることなく、あくまで個別銘柄の積上げをベースにポートフォリオを構築します。
3. 株式の組入比率は、原則90%以上を目安としますが、株式市場が中長期的かつ大幅に下落すると判断される場合は、組入比率を低めることにより可能な限り機動的、弾力的に対処します。

投資リスクについて

当ファンドは、主として国内の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、ファンドの基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。

主なリスクとしては、下記のもの挙げられます。(詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

(1) 株価変動リスク

一般に株価は、個々の企業の活動や一般的な市場・経済の状況、国内および国際的な政治・経済情勢等に応じて変動します。従って、当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

(2) 中小型株式等への投資リスク

当ファンドは、中小型株式等へも投資します。こうした株式は、比較的新興であり、発行済株式時価総額が小さく、売買の少ない流動性の低い株式が少なくありません。その結果、こうした株式への投資はボラティリティ(価格変動率)が比較的高く、また流動性の高い株式に比べ、市況によっては大幅な安値で売却を余儀なくされる可能性があることから、より大きなリスクを伴います。

(3) 信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。

●システムリスク・市場リスクなどに関する事項

証券市場は、世界的な経済事情の急変またはその国における天災地変、政変、経済事情の変化、政策の変更もしくはコンピューター・ネットワーク関係の不慮の出来事などの諸事情により閉鎖されることがあります。このような場合、一時的に解約等ができないこともあります。また、これらにより、一時的にファンドの運用方針に基づく運用ができなくなるリスクなどもあります。

※基準価額の変動要因(投資リスク)は、上記に限定されるものではありません。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写をすることを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・エクイティ・ファンド

愛称:ビッグウェイブ21

マンスリーレポート

お申込メモ (お申込の際には投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。)

ファンド名	スパークス・ジャパン・エクイティ・ファンド (愛称:ビッグウェイブ21)
商品分類	追加型投信/国内/株式
信託期間	平成12年5月26日から平成32年5月25日
繰上償還	残高口数が30億口を下回ることとなった場合などには約款所定の手続きを経たうえで、信託期間の途中で信託を終了(繰上償還)させていただくことがあります。また、委託会社は信託期間満了前に、信託期間の延長が受益者に有利であると認めるときには、受託会社と協議の上、信託期間を延長することができます。
決算日	毎年5月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	原則として毎決算時にファンドの基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。
お申込時間	販売会社で毎営業日お申込いただけます。原則として、お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。
お申込単位	お申込単位は、販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
お申込価額	お申込受付日の基準価額
解約のご請求	解約単位は、販売会社が別途定める単位とします。お申込時間は、午後3時までです。当該時間を過ぎた場合は翌営業日の受付となります。 ※1顧客1日当たりの解約の金額に制限を設ける場合や一定の金額を超える解約の請求の受付時間に制限を設ける場合があります。わが国の金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときには、解約請求の受付を中止させていただく場合があります。
解約価額	解約請求受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
解約代金の受渡日	解約請求受付日から起算して4営業日目からお支払い致します。

お客様にご負担いただく手数料等について

* 下記手数料等の合計額については、お申込金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

【お申込時】

■お申込手数料

3.15%(税抜3%)を上限として、販売会社が定める率をお申込受付日の基準価額に乗じた金額

【ご解約時】

■信託財産留保額

解約請求受付日の基準価額に0.3%の率を乗じた金額

■解約手数料

なし

【保有期間中】(信託財産から間接的にご負担いただきます)

■信託報酬

純資産総額に対して年率1.785%(税抜1.7%)

■実績報酬

基準価額がハードル価格を上回った場合、当該基準価額と当該ハードル価格の差額の12.6%(税抜12%)を費用計上。実績報酬は決算期毎に信託財産から支払われ、ハードル価格も決算期毎に見直されます。

■その他の費用等

- (1) 監査費用は毎日、信託財産の純資産総額に年0.01%(税込)以内の率を乗じて得た金額とします。
- (2) 諸費用(目論見書や運用報告書等の作成費用など)は毎日、信託財産の純資産総額に年0.01%(税込)の率を乗じて得た金額を超えないものとします。
- (3) 有価証券売買時の売買委託手数料(ファンドの運用による取引量に応じて異なりますので、事前に料率や上限額等を表示することができません。)

* 詳しくは「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※課税上の取扱いについては投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。



スパークス・ジャパン・エクイティ・ファンド 愛称:ビッグウェイブ21

マンスリーレポート

ファンドの関係法人について

- 委託会社 **スパークス・アセット・マネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第346号
(社)投資信託協会 (社)日本証券投資顧問業協会 日本証券業協会
信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 **住友信託銀行株式会社**
委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 **下記一覧参照**
ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社	登録番号	加入協会					
		日本証券業協会	(社)投資信託協会	(社)日本証券投資顧問業協会	(社)金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	
シティバンク銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第623号	○ (特別会員)			○	
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第346号	○	○	○		
三井生命保険株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第122号	○				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○		○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○			○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	

[お問い合わせ先]スパークス・アセット・マネジメント株式会社

ホームページ <http://www.sparx.co.jp/> 電話番号:03-5435-8200(受付時間:営業日9:00~17:00)

■当資料は販売用資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社(以下当社)が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。■当ファンドは値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。従って、元本が保証されているものではなく、組入れた有価証券の価格が下落する場合や、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込む場合もあります。また、これらの運用による損益は全て受益者の皆様に帰属します。■投資信託は預貯金・金融債または保険商品ではなく、預金保険や保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、証券会社で購入した場合を除き、投資者保護基金の規定に基づく支払いの対象ではありません。■投資信託の設定・運用は、投資信託委託会社が行います。■当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。■当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。■当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。■当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。■当ファンドに関する投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お問合せは販売会社まで。